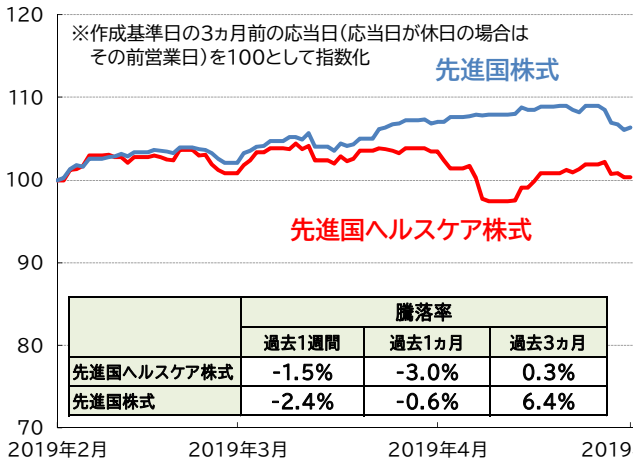


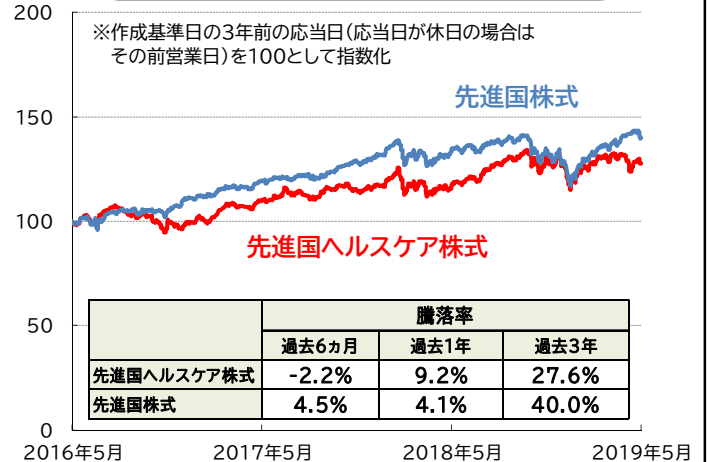
ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	先進国株式	先進国ヘルスケア株式	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	コミュニケーションサービス	公益	
シスメックス	13.3%												
ハンリー・シャイフ	9.0%												
ホッ・シュ・ヘルス・カンパニー・ニース	8.0%												
ネクター・セラピューティクス	8.0%												
マクザン	6.0%												
		1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想	10.0	17.7	7.6	4.0	10.7	9.9	8.2	8.8	12.0	12.6	6.5
		今期予想PER(倍)	15.8	16.3	14.6	13.9	16.1	16.7	19.3	11.2	20.0	16.6	16.5
		3期先予想PER(倍)	13.2	13.3	11.8	12.1	13.3	13.6	16.8	9.7	15.8	13.6	15.0

(出所)Bloomberg

■マーケット・コメント

先週は、先進国株式、先進国ヘルスケア株式は共に下落しました。

- 先進国株式は、米トランプ大統領が2,000億米ドル相当の中国製品に対し、10日から現行の10%の関税から25%へ引き上げると表明。さらに追加関税対象外の3,250億米ドル相当の中国製品にも近く、25%の関税を発動する考えを示したことで、米中通商協議への不透明感が強まったことなどから下落しました。セクター別では、素材や情報技術などが下落しました。
- 先進国ヘルスケア株式は、先進国株式が下落したことに加え、ジェネリック医薬品などを手がけるマイランが市場予想を下回る売上高を発表したことなどが嫌気され下落しました。セクター別では、ライフサイエンス・ツール/サービスなどが下落しました。

■ヘルスケア・バイオ関連トピック「小野薬品工業の株価が乱高下」

厚生労働省は9日、がん免疫治療薬「オプジーボ」を投与された患者11人が副作用と見られる脳の下垂体機能障害を発症したとして、オプジーボの添付文書に重大な副作用として追記するように指示しました。これを受けて、小野薬品工業は同日付で重大な副作用の項に下垂体機能障害を追記しました。オプジーボ等のがん免疫治療薬は既に間質性肺疾患など多くの重篤な副作用の報告があり、専門病院で慎重に使用すべき薬剤であるため、本件の販売への影響は限定的と見られています。同日の小野薬品工業の株価は一時急落しましたが、その後反発しました。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」先進国ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、先進国株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれもトータルリターン(現地通貨ベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。「先進国ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス及びMSCI ワールド・業種別・インデックスの1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

本資料で使用している指数について

- 先進国株式=MSCI ワールド インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国で構成されています。
- 先進国ヘルスケア株式=MSCI ワールド ヘルスケア インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の先進国の株式のうちヘルスケアセクターに分類された銘柄で構成されています。各指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮していません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。